



パネルディスカッション（右から榎本先生、Thang先生、藤本先生、鴨下社長）

### 三谷産業・小金井精機製作所連携講座特別セミナー 「ベトナムにおけるものづくりの未来と大学の新たな役割」 を実施

3月9日、三谷産業・小金井精機製作所連携講座\*第2回特別セミナーを実施しました。本セミナーでは、大阪大学教授の渋谷陽二先生が、2023年秋に開設されるメカトロニクスと日本型ものづくり(仮称)プログラム(EMJM)を紹介し、続いて早稲田大学教授/東京大学名誉教授の藤本隆宏先生による基調講演では「2020年代のデジタルものづくり戦略『CAP 産業分析』と上空・低空・地上分析」と題し、日本の製造業の歴史的変遷やその特徴・強み、他の国の製造業との違いなどが紹介されました。パネルディスカッションでは大阪大学教授の榎本俊之先生がモデレーターを務め、小金井精機製作所の鴨下祐介社長、日越大学の Nguyen Van Thang 講師、そして藤本隆宏先生をパネリストに迎え、ベトナムにおけるものづくりの未来と、その中で大学が果たすべき新たな役割について議論しました。今後、日越大学はメカトロニクスと日本型ものづくり(仮称)プログラム(EMJM)を新設し、日越のものづくり企業との連携を強化し、産業界の求める人材を輩出するとともに、ベトナムの製造業の発展に貢献することを目指します。

\*三谷産業・小金井精機製作所連携講座は「日本型ものづくり」をキーワードに、日本における製造業の発展の歴史、企業の具体的実践事例についての講義および特別セミナーを実施することにより、グローバルな視野で日本のものづくりを捉えることが出来る人材の育成を目的としています。同連携講座は2021年の秋に設置され、現在、2年目を迎えています。

### 今月号の内容

三谷産業・小金井精機製作所連携講座特別セミナーを実施

田中明彦 JICA 理事長による「JICA チェア特別講義」を実施

日越大学第二期理事会・第2回会議を実施

土木学会の上田多門会長が日越大学を訪問

学部メカトロニクスと日本型ものづくりプログラム紹介セミナーを実施

高知大学 IoT 共創センターが特別講義を実施

Special Report : 日本でのインターンシップを実施

CLIL 教育交流インターナショナルセミナーを実施

## 田中明彦 JICA 理事長による「JICA チェア特別講義」を実施

3月7日、田中明彦 JICA 理事長が日越大学に来訪し、学生、教職員を対象に「世界と日本：冷戦後の時代 (The World and Japan: Post-Cold War Era)」と題し冷戦後の日本の経済・政治・安全保障及び JICA の取り組みについて講義を行いました。質疑応答では、人間の安全保障の重要性について触れ、教育が果たしうる役割、とりわけ日越大学のような高等教育機関の役割を強調しました。また、続いて実施した在学生との意見交換では、在学生からの「変化や課題の多い世界情勢においてどのようなマインドセットを大切にしているか」という質問に対し、喫緊のニーズに対応することも大切だが、JICA はより長期的な視点で有効な協力を目指すことに大切にしていると回答するなど、JICA 理事長としての立場から自身の知見・経験に基づいた幅広い意見交換を行いました。



田中理事長による特別講義



修士学生との懇談会

## 日越大学第二期理事会・第2回会議を実施

2月27日、日越大学第二期理事会・第2回会議をハノイ国家大学ホアラックキャンパスにて対面とオンラインのハイブリットで開催しました。ハノイ国家大学の会場では、日本側理事として、武部勤日越友好議員連盟特別顧問、山田滝雄駐ベトナム日本国特命全権大使、相澤益男公益社団法人科学技術国際交流センター会長、竹原玲児日本経済団体連合会国際協力本部長が出席しました。また、会議冒頭では武井俊輔外務副大臣からご挨拶を頂きました。理事会は、理事長のレ・クアン ハノイ国家大学総長の議長のもと進められ、古田元夫学長より、2023年の事業計画、日越大学における実践的教育などについて、報告と提案を行いました。レ・クアン総長は「世界の状況が変化する中、日越大学も変化に対応することが必要である。ホアラックキャンパスへの移転もありチャレンジは大きい国内外のパートナーとの連携を深め、日越大学の強みを活かし取り組んでほしい。」との発言で会議を締めくくりました。



日越大学理事会メンバー（ホアラックキャンパスから理事会に参加された理事の皆様）

## 土木学会の上田多門会長が日越大学を訪問

2月10日、土木学会の上田多門会長が日越大学を訪問され、古田学長と面談、修士課程社会基盤プログラム（MCE）の教員、学生との交流会を実施しました。多くの学生が日本の博士課程への進学を希望していることを受け、幅広い見識を持つ上田会長から学生達にアドバイスを頂きました。また、過去の実績に照らし合わせて今後のMCEプログラム運営に向けた助言も頂きました。昨年、新設された学部シビルエンジニアリングプログラム（ECE）においても日越大学の強みが大いに発揮できるよう土木学会との連携を一層図ることを確認し、充実した交流会を開催できました。



上田会長とMCEの教員と学生

## 新設学部「メカトロニクスと日本型ものづくり(仮称)プログラム」紹介セミナーを実施

3月10日、日越大学と大阪大学は学部メカトロニクスと日本型ものづくり(仮称)プログラム（EMJM）（2023年秋開設予定）の紹介セミナーを実施しました。セミナーでは大阪大学の渋谷陽二先生、榎本俊之先生、東森充先生が特別講義を行いました。本プログラムはベトナムにおける新しい領域、メカトロニクス・精密工学・スマート材料学を推し進めることを目的に、日本の製造業の「ものづくり」における哲学についてプログラム全体を通して総合的に学ぶことができ、将来日本をはじめとする海外企業やベトナムで活躍できる高度人材を育成するためのプログラムになっています。



榎本先生による特別講義

## 高知大学 IoP（Internet of Plants）共創センターが特別講義を実施

3月9日、高知大学の石塚悟史副学長、IoP共創センター野村浩一特任研究員、同センター西口修司さんが日越大学を訪問しました。高知大学IoP共創センターでは、農業分野でのSociety5.0の実現に向けた研究教育を通じて、持続可能な地域社会の構築と未来を拓く人材育成に貢献することを目指しています。この目的に基づき、学部スマート農業とサステナビリティプログラム（ESAS）、および学部食品工学と健康(仮称)プログラム（EFTH）（2023年秋開設予定）とどのような連携ができるのか話し合いを行いました。また学部生を対象に現代の農業においてIT技術がどのような役割を果たしているか、高知県での具体的な例を使った特別講義を実施しました。



野村研究員による特別講義



Special Report

## 日本でのインターンシップを実施

各修士課程プログラムではカリキュラムの一環として本邦支援大学の研究室、機関・企業への訪問を実施しました。1月号、2月号に引き続き日本でのインターンシップの報告を特集致します。今月号では修士課程グローバル・リーダーシッププログラム（MGL）で、早稲田大学でのインターンシップに参加した Nguyen Thanh Phuong さんの声をお伝えします。

2023年1月29日～2月11日、早稲田大学でのインターンシップに参加しました。インターンシップでは福島原発事故についての講義を受け、また実際に福島県を訪れる機会を得ました。今回の訪問では、様々な施設の訪問を通して、東日本大震災から12年経ったこの地域の現実を自分の目で確かめることができました。



Nguyen Thanh Phuong さん

東日本大震災・原子力災害伝承館では震災が住民生活に与えた影響について学びました。また福島県立ふたば未来学園中学校の訪問では生徒の皆さんとの交流会また地域の発展について話し合う特別授業にも参加しました。この訪問では、ソーシャル・インクルージョンのための教育や、失われた地区のコミュニティの再構築といった私にとって非常に興味深いテーマを発見する機会になりました。とみおかwindメニューの訪問では、故郷の復興にかける熱い思いと、震災や原発事故によって福島が失ったものの大きさを改めて感じ思わず涙してしまいました。東京電力廃炉資料館の見学では原子炉事故がどのように発生し、どのような事態

を招いたのかを詳しく知ることができました。



ふたば未来学園中学校の訪問

福島県の訪問では、原発事故から12年経った今でもその影響が非常に広範囲に及んでいることを知りました。科学は進化しているが、必ずしもそれだけで答えが出せるわけではない様々な課題について考えるきっかけとなりました。現代の複雑な問題を解決するために最善の方法を見出すという、学際的な研究者としての私たちの使命を改めて実感する機会にもなりました。日本でのインターンシップ経験を通して今後の研究についての課題や新しいアイデアもたくさん出てきたので、それらを整理し、これから新たな研究テーマについても追及するつもりです。



東京電力廃炉資料館見学

## Content and Language Integrated Learning (CLIL) \*教育交流国際ナショナルセミナーを実施

3月4日、日本語教育プログラム（JLE）はContent and Language Integrated Learning（CLIL）教育交流国際ナショナルセミナーを開催しました。本セミナーには日本CLIL教育学会会長 池田真先生（上智大学）をはじめ、日本語教育関係者約50名が参加しました。セミナーではJICA 専門家でJLEの講師でもある神村初美先生が「ベトナムにおける日本語教育」について研究発表を行い、JLEの講師であるPhan Thi Tham先生、Pham Thi Hong先生が「日越大学における日本語教育と実践」を発表しました。また「日本の俳句」をテーマにCLILを応用した授業を体験するワークショップも実施しました。また本セミナーを通して、参加者はCLILの教授法やアクティブラーニングの意義への理解をより深めることができました。

\*CLILとは、内容（content）の学習と外国語（language）の学習を組み合わせた学習（指導）の総称で、「内容言語統合型学習」とも呼ばれています。



神村先生による研究発表



ワークショップ

## 人事往来

### 【離任（2023年3月）】

- ・武田 晋一：プログラム運営・実施（社会基盤分野）

### ■日越大学の情報発信

#### 日越大学ホームページ

<https://vju.ac.vn/en>

#### 日越大学 Facebook

（ベトナム語）<https://www.facebook.com/vnu.vju/>

（日本語）<https://www.facebook.com/VJUjp/>

#### JICA プロジェクトページ

<https://www.jica.go.jp/project/vietnam/057/index.html>

### ■お問い合わせ

E-mail: [mail.magazine@vju.ac.vn](mailto:mail.magazine@vju.ac.vn)

JICA 日越大学教育・研究・運営能力向上プロジェクト（担当：川口）

#### 【メール配信停止・変更】

配信停止・宛先の変更・追加をご希望の方は、上記問い合わせ先までメールにてご連絡ください。

JICA 日越大学教育・研究・運営能力向上プロジェクト